

高齢者の定期予防接種のご紹介

接種費用の助成があります

①インフルエンザ

インフルエンザウイルスによって起こる病気で、普通のかぜに比べて全身症状が強いのが特徴です。高齢者や慢性疾患患者は重症化しやすく、インフルエンザで亡くなる方の多くは高齢者です。

〈なぜインフルエンザワクチンは毎年接種するの？〉

- ・インフルエンザウイルスは毎年少しずつ性質を変えている
- ・ワクチンの効果を維持できるのが約5か月

〈インフルエンザの定期予防接種〉

対象者：松山市に住民登録があり、①または②に該当する方

- ①接種日に65歳以上の方
- ②接種日に60歳～64歳で、心臓、じん臓、呼吸器、ヒト免疫不全ウイルスにより免疫機能の障害（身体障害者手帳1級相当）を有する方

期間：決定次第、広報やホームページでお知らせします。

自己負担：決定次第、広報やホームページでお知らせします。

（公費助成が受けられるのは年度内1回のみ）

※年度内に2回目以降の接種をする方は全額自己負担となり、その金額は医療機関によって異なります。



②肺炎球菌感染症

肺炎球菌によって起こる病気で、成人肺炎の25～40%を占め、特に高齢者での重篤化が問題になっています。

〈肺炎球菌感染症の定期予防接種〉

対象者：松山市に住民登録があり、①または②に該当する方

- ①初めて23価肺炎球菌ワクチンの接種を受ける方で、接種日に65歳の方

（例）誕生日が昭和34年6月15日の方は、令和6年6月14日～令和7年6月14日の間が対象。

- ②接種日に60歳～64歳で、心臓、じん臓、呼吸器、ヒト免疫不全ウイルスにより免疫機能の障害（身体障害者手帳1級相当）を有する方

※①の対象者には誕生月の翌月に個別案内を郵送します。

期間：通年

自己負担：4,000円（公費助成が受けられるのは生涯1回のみ）

※2回目以降の接種をする方は全額自己負担となり、その金額は医療機関によって異なります。



肺炎球菌ワクチンを2回以上接種される場合、前回の接種から5年以上の間隔を空けることが推奨されていますので、医療機関にご相談ください。

①②を接種ご希望の方は、**医療機関に直接予約をして**接種を受けてください。

お問合せ先 松山市保健所 保健予防課 089-911-1858

令和6年5月作成

高齢者の任意予防接種のご紹介

全額自己負担となります

带状疱疹

水痘・带状疱疹ウイルスによって起こる病気で、体の左右どちらかの神経に沿って、ピリピリ・ズキズキする痛みを伴う赤い発疹と水ぶくれが多数集まって帯状に出現します。治癒した後もウイルスは体内に潜伏し、加齢や疲労、ストレスなどをきっかけとして再活性化し、带状疱疹を発症します。

日本人成人の
90%以上は
带状疱疹の原因
となるウイルス
が体内に潜伏

80歳までに
3人に1人が
带状疱疹を経験

50歳代から
発症率が
高くなる

〈带状疱疹の予防接種〉

有効なワクチンは下記の2種類があり、接種回数、費用、効果などが異なりますので、接種希望の方は医療機関にご相談ください。

【乾燥弱毒生水痘ワクチン（ビケン）】

対象者：50歳以上の成人に1回

※免疫機能に異常のある疾患を有する方及び免疫抑制をきたす治療を受けている方は接種できません。

有効性：50～69歳で約90%、70歳代で約79%が水痘・带状疱疹ウイルスに対する細胞性免疫が上昇したと報告されています。

副反応：特別な副反応はないとされています。

【乾燥組換え带状疱疹ワクチン（シングリックス筋注用）】

対象者：50歳以上の成人に2か月間隔で2回

※生ワクチンではないため、免疫機能の低下した方も接種できます。

有効性：50歳以上で97.2%、70歳以上で89.8%とされています。

副反応：主な副反応は接種部位の疼痛で、重大な副反応として、ショック、アナフィラキシー反応を含む過敏症状が現れることがあるとされています。

